



高口やすひこ通信



立川市議会議員 高口靖彦

電話・FAX 534-0267

E-mail: takaguchi@komei-tachikawa.com

http://www.komei-tachikawa.com/takaguchi

現在、政党、政治家の多くは、マスコミなどが伝えるその時々を追求するのに精いっぱい、住民との一対一の対話や議論の場を持たないまま、選挙最優先で右往左往し、その姿がさらに有権者の政治不信を生むという悪循環に陥っています。この状態を打開しなければなりません。

公明党は9月13日、党永遠の原点である「大衆とともに語り、大衆とともに戦い、大衆の中に死んでいく」の立党精神を継承して、50年の節目を刻みました。

結党以来、幾多の先輩議員が市民相談に代表される住民との対話の中から、乳幼児医療費の無料化、児童手当など数々の政策を生みだし、支持者、地方議員、国会議員の重層的なネットワークを拡充しつつ、「福祉の党」としての地位を不動のものとしてきました。政治混迷を極める今こそ、「大衆とともに」の確たる原点を持つ公明党が、日本再建に挑むものと決意しています。山口代表を中心に一致団結して、誠心誠意頑張ってください。



【平成24年第3回市議会定例会報告】

平成24年第3回定例会が9月4日から9月28日までの会期で開催されました。

今定例会では、平成23年度決算特別委員会が開催されました。一般会計の歳入総額は693.1億円で、前年度とほぼ同額です。歳出では民生費が332.7億円で歳出総額全体の50.1%、初めて過半数を超えました。自治体の財政構造の弾力性を判断する経常収支比率は93.7%（低い程自由に使えるお金が増えます）で、前年度より少し改善されましたが、依然として厳しい財政状況です。

なお、私は9月5日の本会議の一般質問で、子どもたちを取巻く諸問題について、立川市の歴史・文化振興の為に他、大きく5点について、市長の考えと今後の取り組みをたずねました。

（詳細は次ページ）

私の一般質問の主な質問内容



★子どもたちのいじめをなくすために

- ◆主張 子どもたちのいじめの問題の多くは人権に関わります。人権擁護委員等の専門家を活用すべき
- ＜答弁＞ 生活指導上の問題に対するための専門家等の活用について、有効な手段だと認識している（教育長）

★子どもたちの通学路の安全確保のために

- ◆主張 全国の痛ましい交通事故を受け、通学路の関係機関（警察・教育委員会・学校・PTA等）合同の緊急安全点検が行われたが、今後も継続的に行っていくべき
- ＜答弁＞ 通学路の安全について、今回のような関係機関合同の安全点検は、工夫をして継続をしていきたい（教育部長）
- ◆主張 今後道路整備に於いては、車の運転者の側だけでなく、歩行者・子どもの目線に立った道路整備を行うべき
- ＜答弁＞ 特に生活道路に於いて、事故が起きにくいよう、安全性が確保されるよう歩行者・子どもの視点に立って、整備を進めていく（都市整備部長）

★立川市の歴史・文化の振興のために

- ◆主張 日本の歴史についての再認識が高まっている。立川市の歴史・文化についても広く普及・啓発に努めるべく、歴史民俗資料館やホームページの充実を図るべき
- ＜答弁＞ 歴史・文化資料の展示、市民への情報提供の充実、ホームページについても工夫をして新鮮かつ魅力ある情報発信に努めていく（教育部長）

★多摩都市モノレール泉体育館駅・砂川七番駅の駐輪場整備を

- ◆主張 両駅の駐輪場対策として、第六中学校隣接地等を活用し、地下式の立体式駐輪場を整備すべき
- ＜答弁＞ 費用対効果なども含めて、慎重に検討していく必要がある（都市整備部長）



★市内の街路樹の桜並木について

- ◆主張 市内の樹齢を経た街路樹の桜の保護のため、植替えの計画を立てるべき
- ＜答弁＞ 長期的保存について、街路樹の更新計画等の策定を検討していく（都市整備部長）

子ども・若者自立支援が充実されます

社会生活を円滑に営む上で困難を抱える若者等に対し、義務教育後の自立に向けた支援を拡充します。就学前の発達相談、学齢期の教育相談後をフォローするものです。今年度は関係機関と連携して若者等育成支援ネットワーク会議が発足します。



地域における孤立化防止のためのガイドラインを策定



立川市で連続して発生した痛ましい事故を二度と起こさないよう、地域における孤立死防止のためのガイドラインを策定しました。地域での見守り活動をより充実させ、地域で気軽に声掛けができる仕組みづくりや地域の異変にいち早く気づける仕組みづくりに取り組みます。

こんにちは赤ちゃん訪問が開始！

公明党がこれまで強く推進してきた、赤ちゃんが生まれた全てのご家庭を訪問する『こんにちは赤ちゃん事業』を10月から開始します。赤ちゃんが4か月を迎える日までに、助産師・保健師がお伺いします。赤ちゃん訪問では、赤ちゃんの体重測定や育児の相談、地域の情報等をお伝えします。母子バッグに同封の「赤ちゃん連絡票」を必ずご提出下さい。詳細は下記へ

健康推進課 527-3272

こども家庭支援センター 528-6871



皆様の声で実現しました！



スクールゾーン看板設置 砂川町7丁目の道路整備

柏町3丁目と砂川町5丁目の境のスクールゾーンに新たに看板が設置されました。



このほど、傷んでいた砂川町7丁目の道路整備が完了しました。

定期利用保育が開始！

市は新たに、10月から市内認可保育園7園で、短時間就労の保護者の方を対象に、定期利用保育を開始します。

これまで短時間就労のため、保育園になかなか入園出来なかった保護者を支援するものです。これからも育児・子育てに全力を期してまいります。詳細は下記へ

保育サービス推進係り

523-2111（代表） 内線 1320

防災ハンドブックを全世帯に配布します

本年1月に開催した立川断層の講演会記録と防災ハンドブックをあわせた資料を作成し全戸に配布します。地震はいつ起きるかもわかりませんので、いざという時のために日頃から防災意識を高めるために活用して下さい

玉川上水駅に自転車整理指導員が拡充！

玉川上水駅付近の自転車整理対策として、整理指導員が拡充されます。現在、平日早朝のみ自転車整理が行われていますが、平日昼間、土日に関しても自転車整理が行われます。(東京都の緊急雇用創出事業を活用)

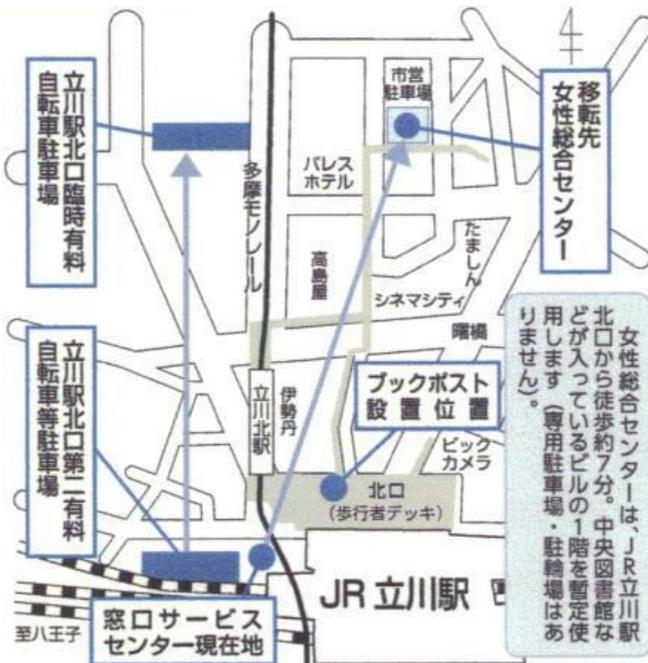
玉川上水駅周辺の違法駐輪については、高齢者や障がいを持つ方、乳幼児の保護者の方など多くの方々から何とかしてほしいとの声を頂いていました。今後もしっかりと皆さまの声を生かしてまいります。



窓口サービスセンターが、女性総合センターに移転します

立川駅北口西地区第一種市街地再開発事業(旧第一デパート周辺地域)に伴う工事のため、立川駅北口直近の窓口サービスセンターは9月25日に閉鎖し、10月1日、暫定施設(女性総合センターAIM)へ移転します。

合わせて、図書返却用ブックポストが立川駅北口伊勢丹1階入口付近に、北口第二有料自転車等駐車場の閉鎖に伴い、パレスホテル前の国有地に臨時駐輪場が設置されます。



身近な法律相談を実施しています

《公明党無料法律相談》

- ・毎週水曜日(第5週を除く)14時から
- ・立川市錦町1-4-4 立川サ-ハイツ301
- * 予約制です。詳細は高口やすひこまで



「高口やすひこ」まで何でもお気軽にご相談下さい!

◆市議会議員

高口やすひこ励ます会 発行